

不二製油グループ本社株式会社

「米国 Blommer Chocolate Company 社の株式取得について」電話説明会 主な質疑応答

・日時	： 2018年11月19日（月）17:30～18:30
・説明者	： 取締役 最高財務責任者 CFO 松本 智樹

<シナジー効果について>

Q.どのようなシナジー効果を見込むか

A. 下記の内部改善、グループシナジーにより10億円程度の効果を見込めるとみている。

- | | |
|------------|---------------------------------------|
| <内部改善> | ・ 同社が計画する生産改善プログラムの確実な実行による合理化の推進 |
| | ・ 調達面でのコストダウン |
| <グループシナジー> | ・ 中国市場における、当社グループ既存拠点と合わせた生産合理化による効率化 |
| | ・ 当社グループの信用力による金利コスト削減 |
| | ・ 米国油脂事業拠点からのチョコレート用油脂供給増 |

Q.カカオ豆加工事業の取得メリットは何か

A. 管理運用の徹底により、相場影響リスクを上回る下記のメリットを見込む。

- ・ 川上産業を保有する競合他社からの供給に依存せず、自社で産地と強いコネクションを確立していけること
- ・ ESGの観点から、将来的な認証カカオ豆の安定調達や調達コスト抑制の実現
- ・ チョコレートの風味・美味しさを左右する発酵や焙煎の技術の取得による、既存拠点のビジネスの進化
- ・ 将来的に、購買面の統合を図ることによるスケールメリット

<Blommer社について>

Q.直近の営業利益が大きく減っているのは何故か

A. マネジメントに関連する一時費用の他、カカオ豆ビジネスにおいてヘッジ会計の適用を受けていないため、期末の時価評価を行なっていることによる相場影響が主である。今後は会計基準の変更を検討の上適用し、相場による変動を緩和させていく。

Q.既存の不二製油のチョコレートビジネスにくらべ収益性が低いのは何故か

A. 相対的に利益率の低いマルチナショナルな大手菓子メーカーへの供給量が多いこと、およびチョコレート加工事業と比較すると利益率の低いカカオビジネスを保有していることによる。ただし、今後は当社グループの油脂技術・チョコレート加工技術をベースに、不二製油が得意とするリテールビジネスやニッチな市場へ進出していくことで利益率を高めていけると考える。

<その他>

Q.買収コスト、IT統一等による一時費用の発生はあるか

A. 取得完了に向け精査していくが、前述のコストダウン等の内部改善と見合う部分も大きく、費用増を上回るシナジー効果はとれると考えている。

以上